

小学校版「SOSの出し方指導プラン」学年・学年ブロック集会（小学校中学年）

- 1 ねらい 相談のよさについて考えを交流したり、専門の先生等の話を聴いたりすることで、今後の生活に「相談の出し方さん」を活用して、相談していこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート 掲示資料 専門の先生等との事前打ち合わせ
- 3 展開

学習活動（15分）○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの児童の意識	
1	学級活動の内容を振り返り、授業の感想や分かったこと等の意見交流を行う。（7分） ・「相談の出し方さん」について、内容を確認する。 ・学活の授業での感想を伝え合う。 ○司会進行は、教員が行う。 ○授業で使用したワークシートを児童に返却しておく。 ○授業で使用した掲示資料を見せて「相談の出し方さん」について想起できるようにする。 ○自分が相談できそうな人物を考えるために、「誰に」の部分にも触れる。 ○授業のまとめで書いた部分について、3分間で他学級の友達二人と交流することを伝える。 ○友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことを伝える。 ☆授業の感想や分かったこと等を友達と意見交流を行うことで、学んだことの再確認と様々な考え方があったことが分かった。
2	専門の先生等からの話を聞き、学習のまとめをする。（4分） ・専門の先生等から話を聞く。【校長、教頭、養護教諭、学校医、S C、等】 ○児童に話す内容は、以下の点等について触れてもらうよう、専門の先生等に事前に伝えておく。 ・「心のモヤモヤ」が続くと、身体的に影響が出てきてしまうこと。 ・我慢をしていると学校へ行きたくなくなったり、自分を傷つけたりしてしまうことがあること。 ・「学校を休む」、「自分を傷つけてしまう」等は、後で自分を責めることになったり、自尊感情が低くなってしまったりすること。 ・相談の「出し方さん」を活用して相談すると相手に分かってもらいやすいこと。 ・モヤモヤが出てきた時、誰かに相談することで、心がスッキリしていくこと。 ☆専門の先生の話聞いて、誰かに相談する等の対応をしていくことの大切さが分かった。
3	振り返りをする。（4分） ・SOSの出し方に関する学習のまとめをする。 ○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、学習の振り返りができるようにする。 ・今後の生活で意識してもらいたいこと。 ・「こころのモヤモヤ」を出せる場面はいろいろあること。（毎月行う生活アンケート含む） ・「出し方」の学習を行ったので、今後「受け止め方」の学習も行うこと。 ☆「こころのモヤモヤ」をすっきりさせるために、誰かに相談することを意識していこうという意欲が高まった。